

豊かな心の育成推進プラン

重点取組分野		具体的取組
豊かな心の育成		道徳の授業だけではなく、各教科において話し合い活動を中心とした授業づくりを意識して行っていく。そのことで、他の人の考えや気持ちを想像したり、自分の考えや気持ちを伝えあい、わかり合うためのコミュニケーションに取り組んだりすることで人間関係を調整する力、他者の思いに寄り添う心情を育みます。
担当	生徒指導部	

豊かな心に関わる本校の状況	今年度の目標
(1)生徒の実態 家庭の指導が行き届き、情緒的に安定している生徒が多いと思われます。半面、核家族が多く、家庭外で異年齢の他者とコミュニケーションを取ることが少なく、自ら地域に出て行って高齢の方と接したり、ボランティア活動に参加する生徒の数が少ない。 (2)学校の取り組み状況 職業講話、職業体験また地域ケアプラザ訪問などの行事により、いわゆる普段接する機会のない「大人」とコミュニケーションすることにより、自分とは異なる世代の考え方に触れ、視野をひろげる意図があった。コロナ禍のため、数年間実施できていないものもあったが昨年より徐々に機会を増やすことができています。	教員全体で、生徒が「語り合い」をする価値のある課題の設定方法を探り、それを授業に生かす。
目標を実現するための具体的行動プラン	
上半期	・道徳の授業をはじめ各教科において話し合い活動を中心とした授業づくりを行うことを通して、他の人の考えや気持ちを想像したり、自分の考えや気持ちを伝えあいわかり合うようにしたり、日常生活の中の行動に反映したりするために、他の人との人間関係を調整する力を養い、他者の思いに寄り添う心情を育みます。 ・数年継続している、学年縦割り道徳授業を改善しながら実施し、普段とは違う人間関係での学びを体験できるようにする。
下半期	上半期に立てた具体的な行動プランを継続して実践しつつ、現状に合わせて追加・修正を行い、目標実現を目指す。